

観点 9. 教育研究環境

9-1. 教育研究目的を達成するために必要なキャンパス（校地、運動場、校舎等の施設設備）が整備され、適切に維持、運営されていること。

(1) 事実の説明（現状）

9-1-① 校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設等、教育研究活動の目的を達成するための施設設備が適切に整備され、かつ有効に活用されているか。

本学は、美原キャンパス、清滝スポーツ・ヒルズ、鴻池スポーツキャンパスの3つのキャンパスを有する施設分散型の大学である。

教育研究環境の中心となる美原キャンパスは、大阪府の南部堺市美原区の羽曳野丘陵南部に立地し、緑豊かな自然環境に恵まれたキャンパスである。

通学する学生の多くは、近鉄南大阪線・長野線を利用している。最寄り駅は「喜志駅」で、乗車時間9分程度の本学シャトルバスを運行し学生の通学の便を図っている。平成21(2009)年度より、南海バス「平尾バス停」からのシャトルバスを、大阪市営地下鉄「なかもず駅」及び、南海高野線「中百舌鳥駅」からの乗車時間30分程度のシャトルバスに変更し運行させ、阪和線沿線学生の通学にも対応している。また、バイク通学の学生に対応すべく、学生専用の駐輪場を有している。

清滝スポーツ・ヒルズは、四條畷市にある府民の森・緑の文化園内に位置し、学園の創立70周年記念教育事業として設置したスポーツ施設である。

鴻池スポーツキャンパスは、大東市にある太成学院大学高等学校と共有するスポーツ施設である。

なお、本学の美原キャンパス、清滝スポーツ・ヒルズ、鴻池スポーツキャンパスの教育環境施設の概要は表9-1-1、9-1-2、9-1-3の通りである。

表9-1-1 美原キャンパスの概要

名 称	敷地面積	主要施設
本 館	4,251 m ²	学長室・副学長室、学長執務室、副学長執務室、学部長室、学園企画室、教員研究室、兼任講師控室、総務課、教務課、学生サービス課、入試課、会議室、応接室、保健室、講義室、多目的教室、ICT講義室、マルチメディア実習室、教職・教育支援センター、授業演習室
東 館	2,246 m ²	教員研究室、講義室、多目的演習室、音楽演習室、カウンセリング実習室、第2保健室（学生なんでも相談室）、コミュニティホール、エントランスホール、東館食堂、売店
西 館	1,470 m ²	教員研究室、情報センター、サーバー室、ヒューマンメディア実習室、マルチメディア実習室、講

		義室、実験室
足立記念館	3,690 m ²	理事長室、会議室、作法室、茶室、教員研究室、図書館、看護国試閲覧室、館長室、会議室、AV教室、記念ホール、エントランスロビー、談話コーナー
看護学部 実験実習棟	369,256 m ²	教員研究室、教員室、兼任講師控室、シミュレーションルーム、マルチメディア資料室、モデルルーム、講義室、ゼミ室、実習室、学生ラウンジ、ロッカールーム、パウダールーム、管理室
体育館	1,108 m ²	教員研究室、メインアリーナ、ミーティングルーム、トレーニングルーム、男女更衣室
スモーキングルーム	30 m ²	
西食堂	336 m ²	(平成 26 年 3 月現在 休業中)
ロボット製作研究室	69 m ²	
体力測定評価室	82.14 m ²	
ロッカールーム棟	164.28 m ²	
女子学生寮	119,589 m ²	個室 (43) コミュニティールーム
野外ステージ	75 m ²	
ゴルフ練習場	933 m ²	
野外飯事場		付帯施設
キャンプファイヤー場		付帯施設

表 9-1-2 清滝スポーツ・ヒルズの概要

名 称	敷地面積	主要施設
セミナーハウス	432.98 m ²	教員室、更衣室兼講義室、シャワー室
天然芝グラウンド	34,309.12 m ²	本部席、観客席
野球場	30,636.25 m ²	本部席
多目的研究棟		付帯施設
テニスコート	8,098 m ²	12 面

表 9-1-3 鴻池スポーツキャンパスの概要

名 称	敷地面積	主要施設
室内プール	569 m ²	教員室、シャワー室、男女更衣室
剣道場	356 m ²	教員室、シャワー室、男女更衣室
柔道場	326 m ²	教員室、シャワー室、男女更衣室
トレーニングルーム	125.28 m ²	

ア. 体育施設

美原キャンパスの体育施設は体育館に約 860 m²のメインアリーナと約 17.4 m²のトレーニングルームがあり、約 3,565 m²の多目的グラウンド、体育測定評価室、ゴルフ練習場等

は、ともに体育授業、学生のクラブ活動や課外活動に活用されている。多目的グラウンドは平成14(2002)年3月に国立競技場で採用されている透水型のゴムチップ(ダーステート)の全天候型のグラウンドに変更し、平成19(2007)年3月には夜間照明設備も設置した。利用の優先順位は、授業、課外活動団体(部・同好会・サークル・準備会)、一般学生の順であるが、授業の空き時間や昼休み等でも多くの学生が利用している。

清滝スポーツ・ヒルズには、夜間照明完備の天然芝グラウンド(34,309.12㎡)、夜間照明完備の野球場(30,636.25㎡)、テニスコート12面、セミナーハウス、多目的研修棟が設けられている。授業における、美原キャンパスから清滝スポーツ・ヒルズまでの学生の移動には、シャトルバスを運行させ対応している。その他の主な利用は、課外活動団体の一部活動による土・日曜日の使用を含め、長期休業時における課外活動使用施設となっている。

鴻池スポーツキャンパスには、環境に配慮してソーラーシステムを導入した室内温水プール(6コース×25m)、剣道場(358㎡)、柔道場(326㎡)、トレーニングルーム(125.28㎡)が設けられている。

イ. 図書館

図書館は足立記念館の2階にあり、大阪短期大学時代の資産を継承するとともに、研究、教育に必要な図書は随時追加されている。図書館の学生閲覧室の面積、座席数、収容人員、開館日数、開館時間及び利用実績については、表9-1-4に示す。蔵書は、平成24(2012)年度末で図書約69,500冊、定期刊行物約50種類、視聴覚資料約1,870点を所蔵している。

図書の内訳は社会科学35%、自然科学17%、総記12%の順となっている。蔵書検索は学内ホームページから図書館のホームページへリンクが張られ、OPACによって図書館所蔵の各種資料(図書・学術雑誌・ビデオ・CD-ROM等)の検索が可能となっている。ヒューマンメディア実習室、マルチメディア実習室のコンピュータをはじめ各研究室や図書館内のマルチメディア・コーナーの21台のコンピュータ、学生に配布しているiPodからも検索が可能である。また、CiNiiとメディカルオンラインに契約しており、学生、教職員が自由に使える環境となっている。

表9-1-4 学生閲覧室

面積(㎡)			学生 閲覧室 の座席 数(a)	学生 収容定 員 (b)	収容定員 に 対する 座席数の 割合(%) a/b* 100	その他の 学習室の 座席数 ()	開室日数		年間利用実績(平 成23年度)		開室時間
全体	閲覧 スペ ース (内数)	書庫 スペ ース (内 数)					週 当 た り	年間	学内	学外	
682	582	28	206	1,456	14.1	/	5	224	25,535	0	9:00~18:50

図書館内には閲覧席、開架書架の他に次のような各種コーナーが設けられている。

(a) AVコーナー

DVD、ビデオ等が視聴可能な再生機器を有したブースを4ブース設置している。1ブース

3人まで使用可能で、5人以上の場合図書館に隣接する60席のAV教室を利用できる。

(b) リクエストコーナー

学生のニーズに対応した図書館とするために設けられている。書籍やAV資料の購入要請や図書館の運営に関する要望や意見を申し出ることができる。購入要請については1人につき年2回までリクエストに応じ、希望の図書、DVDなどを購入している。資料購入の可否や寄せられた意見、要望については図書館に設置している掲示板で回答することになっている。

(c) マルチメディア・コーナー

21台のコンピュータを設置し、蔵書検索のほか、電子メールの送受信、インターネットの利用も可能となっている。

(d) 展示コーナー

図書館で所蔵している本学教員の著書を展示している「教員著書コーナー」および学生時代に読んでおきたい本をテーマとして本学教職員が推薦する本を展示する「特設展示コーナー」を設けている。

(e) 看護国試閲覧室

平成23(2011)年度から、看護師国家試験向け学習用に看護国試閲覧室を設けている。

パソコン2台とプリンタ1台、国試に関連する書籍を配架し、国家試験を受験する学生に開放している。

また、本学図書館では学生の利用を促すためにいくつかのプログラムを実施している。

・学生図書選書ツアー

実際に書店で「図書選書」を学生に体験してもらうことによって、図書館への関心を深め、図書館の積極的な活用を促すことを目的とする。これは教職員同伴の上、15人程度の有志の学生が年1回、5月に1人10冊以内で選書を行っている。

・新入生ガイダンス

4月の最初に新入生を対象に図書館の使い方、図書の貸出・返却、検索の仕方、図書館でのマナーなどを説明している。

・図書館相互利用

教員、学生の研究や論文作成のため本学図書館にない文献や大学のホームページなどで公開されていない研究紀要や学術掲載論文などを取り寄せ、図書の貸し借りをを行っている。

・図書館の市民公開授業受講者に対する開放

平成25(2013)年度に初めて実施した市民公開授業の受講者に対して学修の便宜を図るために図書館の利用を認めた。

ウ. 情報センター

情報センターは、西館1階に位置し、情報インフラの整備・管理、情報教育の支援、その他事務効率の向上に資する業務を担当している。

学内には、1Gbpsの高速ネットワークシステムを整備し、学内に設置されたパソコンや学内各所に配置された無線LANを通じてネットワークに接続することが可能である。

学内には学生用パソコンとして表9-1-5の場所に228台のパソコンを設置している。各パソコンには、Microsoft® Office・SPSSなど各種授業用ソフトを導入するとともに、インターネットの利用も可能にしている。中でも実習室と図書館のパソコンは、同一ドメイ

ンで管理され、共通で利用できる学生用個人フォルダを提供している。学生用パソコンについては、平成 23(2011)年 3 月に Windows7・Office2010 が導入された最新パソコンへの全面リプレイスを行うとともに、IC 学生証による認証・学生個人用フォルダの増強・課題提出フォルダの新設などの対応を行っている。

他に座学の授業を目的とする一般教室にはすべて、教員用パソコン・書画カメラ・DVD デッキを設置し、授業を効果的に行えるよう配慮している。平成 25(2013)年度に使用頻度の高い 2 講義室のマルチメディア教卓のデジタル化と 4 講義室へマルチメディア教卓の新設を行い、全教室にマルチメディア教卓が配備された。また、授業のアーカイブ化に対応する設備を 6 教室で導入し、授業外学修支援の充実を目指している。

表 9-1-5 情報機器の設置状況

設置場所		パソコン	プリンタ	スキャナ
西館 1 階	ヒューマンメディア実習室	64 台	3 台	—
	ロビー	3 台	1 台	1 台
西館 2 階	マルチメディア実習室	64 台	3 台	—
本館 3 階	マルチメディア実習室	72 台	3 台	—
	教職・教育支援センター	2 台	—	—
足立記念館 2 階	図書館	21 台	—	—
	看護国試閲覧室	2 台	1 台	—
合 計		228 台	11 台	1 台

また、平成 20 (2008) 年にリリースしたポータルサイト「MY TGU.net」により、学生は履修登録・出欠状況確認・成績照会・求人票検索が行える。教職員からは、休講情報、その他連絡など、学生へリアルタイムな情報の提供が可能である。

本学では、2005 年 4 月より「SA 教育制度」を導入している。一定の募集要件を満たす 2～4 年次の学生が、1 年次生の情報リテラシー授業の学生アシスタント (Student Assistant : 以降 SA) として授業に参加し、パソコン操作に不慣れな 1 年次生のサポートに当たっている。

9-1-② 教育研究活動の目的を達成するための施設設備等が、適切に維持、運営されているか。

施設設備備品等の資産管理は総務課が責務を負い、委託清掃員からの連絡や担当課員の巡回により点検を実施し、軽微な補修は職員が行うほか、必要に応じ業者に委託して修理している。緊急時を除き、大規模な修理改修は授業への影響を避けるために学生の長期休業期間に実施している。

(2) 9-1 の自己評価

本学の教育研究環境の中心となる美原キャンパスは、大阪府南部に位置する。キャンパスは緑豊かな自然に囲まれ、環境に恵まれており、学生の教育に適した環境である。

校舎面積は大学設置基準上の校地面積 (53,213 m²) 及び校舎面積 (25,058.81 m²) を上回っており、教育研究の目的を達成するために必要なキャンパスが整備されていると評価

している。建物、エレベータ、電気設備、消防設備については、法令に基づき定期的に点検を実施し、点検結果による改修等を行っており、施設設備の維持運営は適切である。

体育施設については、課外活動に活発に利用されているため、毎年一定の改修や改善を実施し適切な運営が行われている。具体的には、多目的グラウンド及び体育館のメンテナンス、ゴルフ練習場の修繕等である。

図書館は蔵書だけでなく、視聴覚教材を利用できる点で学生には好評である。また、マルチメディア・コーナーを設置していることにより蔵書検索などの利便性が保たれている。

情報センターで管理しているパソコン実習室・一般教室に関しては、導入ソフトの見直し（修正プログラム対応・バージョンアップ含む）と機器点検を年1回行っている（パソコン実習室については、平成23(2011)年3月に全面リプレイス完了済み）。

また日々発生する不具合については、都度対応している状況であるが、毎日行っている職員による全校舎の巡回に加え、特にパソコン実習室は、SAによる巡回も行っており、施設設備の維持運営は適切である。

(3) 9-1の改善・向上方策（将来計画）

体育施設については、中長期的な事業計画として、屋内施設の拡充を図るために、1階に柔道場・剣道場・温水プール・実習室・更衣室・レストラン、2階にメインアリーナを備えた健康スポーツセンター棟の建設を予定している。

図書館は学生の利用がさらに増えるように、また利用者のニーズに応えるために図書館主催のプログラムは継続する。

平成26(2014)年4月にはICT学修教育環境*拡充の一環として、Active Learning Commonsの供用開始を予定している。Active Learning Commonsとは、学生たちが日頃から集う8カ所にTGU.netを介して自学自習で自由に学生が使用できるICT学修環境を整備した施設設備の総称で、そのコンセプトは学生と学生、先輩と後輩、教職員と学生など人・仲間・アイデア・チャンス…いろいろなものが「相互啓発」し、出会いや発見、イノベーションの創造が生まれる今までにない「学びの交流空間」である。（※ICT学修教育環境は、平成24年度文部科学省 ICT活用推進事業として採択された補助金事業である。）

9-2. 施設設備の安全性が確保されていること。

(1) 9-2の事実の説明（現状）

9-2-① 施設設備の安全性（耐震性、バリアフリー等）が確保されているか。

本学では、警備体制として正門に警備員を常駐させ、夜間や日祝日を含め24時間体制で巡回や車両誘導を実施し、安全を確保している。

平成19(2007)年度1月より、心室細動等による突然の心停止に陥った場合に備え、学内2箇所、清滝スポーツ・ヒルズに2箇所、鴻池スポーツキャンパスに1箇所「AED」（自動体外式除細動器）を設置している。「AED」の設置に際しては、教職員や学生に対して使用講習会を実施し安全確保に努めている。

開学時より、学内施設のバリアフリー化を進め、車椅子に対応したスロープの設置、障害者用トイレや駐車場の設置を行っている。平成25(2013)年度には、体育館入り口のスロ

ープと体育館入り口自動ドアを設置した。

(2) 9-2の自己評価

学生サービスの向上と安全安心な教育研究環境の提供を目指し整備を実施してきた。また、不特定多数の者が入校するので、警備委託業者による入校チェックや、施設内巡回を行い、学内の安全確保に努めた。

バリアフリーに関しても、学内施設において不十分な箇所があるので、今後も引き続き整備を進めていく。

(3) 9-2の改善・向上方策（将来計画）

これまで以上に学内の安心安全な環境の保全に努め、更なる学生サービスの向上を目指す。計画に則った改修・改善を実施し、一層のバリアフリー化を推進していく。

なお、耐震性の確保については、学長・学部長会議や大学運営会議等で継続して審議する。

9-3. アメニティに配慮した教育環境が整備されていること。

(1) 9-3の事実の説明（現状）

9-3-① 教育研究目的を達成するための、アメニティに配慮した教育研究環境が整備され、有効に活用されているか。

学生福利厚生施設として、学生食堂、売店、コミュニティプラザ、コミュニティホール、エントランスホール、談話コーナー、学生ラウンジ（看護棟内）、パウダールーム（看護棟内）、哲学の小径、野外ステージを設置している。学生生活を楽しく便利に過ごせる設備を整備し、多くの学生が有効に利用している。

特に看護棟のパウダールームには、平成 23(2011)年 3 月に IC 学生証による入退室管理システムを導入し、女子学生が安心して利用できるよう配慮している。

学内における分煙に関しては、平成 14 年（2002）年の健康増進法施行に伴い、喫煙スペースを大幅に縮小し建物内はすべて禁煙として、屋外指定場所にて喫煙所を数箇所分散して設置し分煙を徹底している。平成 25(2013)年度にはスモーキングルームを設置し、学内全面禁煙を目指して、喫煙所を段階的に減らして集約した。

キャンパスのアメニティに関しては、屋外ステージにおいてランチタイム・コンサートなどの催しが行われ、キャンパス中央部のコミュニティプラザ、東館のコミュニティホール・エントランスホールは軽食やくつろぎの場所を提供している。

野外施設としては、平成 19（2007）年度 1 月に多目的グラウンドに 8 基（32 台）、全体平均照度 239 ルクスの投光器を設置した。同年 3 月には、コミュニティプラザを起点に多目的グラウンドから野外ステージ周辺、喜三郎池をめぐって体育館に至る自然に恵まれた約 1km の喜三郎池ロード（ジョギングロード）を設置し、授業や課外活動団体が活用している。清滝スポーツ・ヒルズには、平成 20 年（2008）年 4 月に教員室、更衣室兼講義室、シャワー室が完備されたセミナーハウスが設置され授業で活用している。

(2) 9-3の自己評価

学生が集まり、寛げるスペースとして、東館コミュニティホール・エントランスホール、足立記念館談話コーナー、看護学部実験実習棟学生ラウンジ、東食堂、西食堂カフェテリアがある。また、野外施設として喜三郎池ロード、哲学の小径、野外炊事場・キャンプファイヤー場は授業や課外活動団体が有効に利用している。

(3) 9-3の改善・向上方策（将来計画）

学生の憩いの場としてのコミュニティプラザ、コミュニティホールの拡充、食堂の改善等の検討を大学運営会議、教学会議・教授会で継続的に審議する。学内での喫煙については、学内全面禁煙を目指す一環として平成25(2013)年度にスモーキングルームを設置した。これにより、まずは完全な分煙を目指している。

【観点9の自己評価】

教育研究目的を達成するために必要なキャンパス、校舎等は大学設置基準上の必要な面積を満たしており、その整備及び維持においても適切に運営していると評価できる。

また、施設の設備体制や安全対策等についても適切に整備され、概ね十分な体制であると判断している。

【観点9の改善・向上方策（将来計画）】

教育研究環境の目的を達成させるための施設・整備については、維持管理と安全点検を計画的に推進するとともに、より一層快適な教育環境を構築するため、キャンパス全体を通してのバリアフリー化の促進、学生が憩う場の充実等を大学運営会議、教学会議・教授会で継続的に審議する。

体育施設については、中長期的な事業計画として、屋内施設の拡充を図るために、健康スポーツセンター棟の建設を予定している。

情報センターにおいては、平成26(2014)年4月に供用を開始する Active Learning Commons の運用面でのサポートを行う。